

4月7日にシリアの首都  
ダマスカスのマエン・イブ  
ン・サエマ小学校を訪問し  
ました。ここでは、生徒3  
00人中50人がイラクから  
逃げてきた子どもたちでし  
た。

03年3月のイラク戦争開  
始から早や5年。470万  
人を上回る人々がふるさと  
を追われ、イラク内外で避  
難生活を強いられ、隣国の  
シリアには政府の推定で1  
50万人ものイラク難民が  
避難しています。

イラク難民の子どもたち  
は、シリアの公立の学校に  
シリア人と一緒に通うよう  
になっています。この学校  
に通うイラク難民の子ども  
たちに「将来の夢は？」と  
聞いてみました。「お医者  
さん。みんなの病気を治し  
てあげたい」学校の先  
生。ひとが好きだから  
「エンジニアになってイラ  
クの再建に役に立ちたい」  
と元気な声が返ってきました。

# 「イラク 難民の子どもたち」 教育支援で未来を開く

## 活動を資金の寄付に協力を



子どもたちにとって、学校は  
心の安らぎの拠り所で、唯  
一の希望の源といえるで  
しょう。  
国連では国連難民高等弁  
務官事務所（UNHCR）  
とユニセフが共同して、1  
人でも多くのイラク難民の  
子どもが学校に通えるよう  
に「Back to School  
キャンペーン」を実  
施しています。07年夏から  
学校・教室の拡張や教育機  
材の提供、補充教員の養  
成、制服・文房具の提供な  
どの支援を行っています。

特定非営利活動法人日本  
UNHCR協会事務局長 **根本かおる**

赤新月社のセッケンを着け  
たスタッフから文房具を受  
け取る子どもたち  
……………

シリアで学校に通うイ  
ラク難民の子ども数は、  
キャンペーン開始前の3万  
人余りから今年4月時点で  
4万7000人余りとおよ  
そ50%増えています。が、  
それでも当初の予想よりも  
伸びは低く、また、一度は  
入学したものの、学校に行  
けなくなった子どもたちも  
多いと聞きます。

「学校は好きですが、  
きょうは体育の授業用の体  
操着がないので、結局休ん  
でしまいました」。ダマス  
カスで出会った14歳のイラ  
ク難民の少女は辛そうでし  
た。父親を殺され、母親と  
兄弟3人とともにシリアに  
逃げてきました。金銭的な  
理由で16歳の兄2人は学校  
に行けず、彼女と7歳の弟  
しか学校に行けません。

親の収入が少ないために  
子どもが働き出なければ  
ならない、蓄えが尽きて子  
どもを学校にやる余裕がな  
い、定員をはるかに超えて  
いる学校ではこれ以上受け  
入れる余裕がない、イラク  
で受けた暴力や拷問のため  
に心の傷に苦しんでいる、

シリアのカリキュラムが難  
しい、シリア人の子どもか  
ら差別を受けるなど、イラ  
ク難民の子どもが学校に通  
えず、社会から取り残され  
ていく事情は様々です。

150万人ものイラク難  
民を支え続けていくこと  
は、大変な事業です。UN  
HCRでは2000人余りの  
スタッフをシリアに配置し  
て任務にあたっています。  
心配なのは、この教育プロ  
グラム向け予算のわずか  
20%の935万米ドル（約9  
億3500万円）しか活動  
資金が集まっていないこと  
です。

日本の戦後復興と経済発  
展においては、学校教育の  
普及が大きな役割を果たし  
ました。小学生たちが夢と  
して語っていたように、将  
来のイラクの国づくりに関  
与するのは、イラク難民の  
子どもたちです。より多く  
のイラク難民の子どもたち  
が学校に通い、将来の人材  
がしっかり育つよう、皆様  
の温かいご支援をお願い  
いたします。

寄付の詳細については、  
協会サイト <http://www.japanforunhcr.org/> ま  
たはTEL 03 (3) 4999 (2)  
450。